

鹿児島県漁海況週報

令和2年9月3日発行(8月27日～9月2日)
第2868報【旧暦：7月9日～7月15日/月齢：8.0～14.0/潮汐：小潮～大潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、8月29日現在、竹島の南1.7マール付近にあり、接岸している。

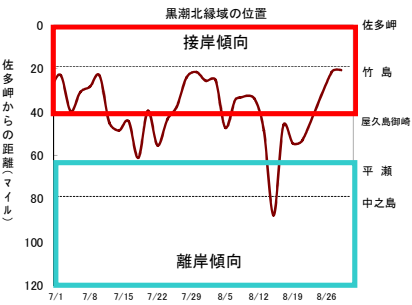
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月1日現在、89マール付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、与路島、甌海峡で0.5～0.7℃昇温し、その他の海域で0.1～1.5℃降温した。

平年比較では、甌海峡で“著しく高め”、笠利崎、与路島で“かなり高め”、中之島で“平年並”、屋久島御崎で“やや低め”、その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	29.7	-0.7	+0.5	やや高め
鹿児島	29.0	-0.2	+0.9	やや高め
佐多岬	28.7	-0.5	+0.5	やや高め
竹島	29.0	-0.1	+0.6	やや高め
屋久島御崎	28.3	-1.5	-0.4	やや低め
中之島	28.9	-0.4	+0.1	平年並
笠利崎	29.6	-1.0	+1.2	かなり高め
与路島	29.7	+0.5	+1.3	かなり高め
与論	29.3	-1.1	+0.7	やや高め
甌海峡	30.1	+0.7	+2.0	著しく高め

鹿児島一那覇定期客船観測は8/29-30
串木野一鹿児島定期客船観測は8/30

【漁況】

台風の影響で全般に低調な漁模様。

○定置網

西薩南部海域では、1日のみコマサバ(200g)が400kg、ハガツオ(2kg)が300kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でツムブリ(2kg)が230kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で33統がマアジ豆、サバ類小、ニサダイ主体に20トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でタチウオ、ニヘ類、ヤマトマス主体に3.8トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、3～6箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、1日のみ小トビを30箱/統、中トビを8箱/統の漁。屋久島海域では、中トビを6～17箱/統・日、セトビを6～20箱/統・日の漁。

○イセエビ刺網

西薩海域では、400gサイズを1日のみ8kg/隻の漁。西薩南部海域では、200～500gサイズを1日のみ100尾/隻の漁。

(旋網、棒受網、カツオ平均的漁況は下記の表に記載しています。)

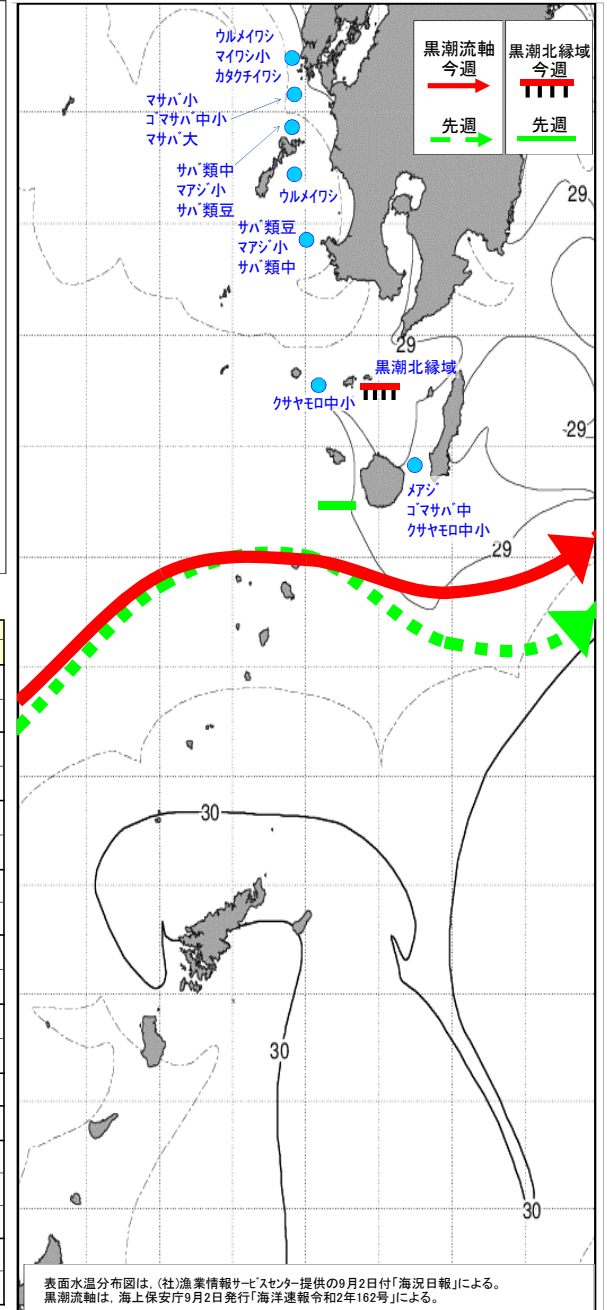
業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2816報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	6	183	ウルメイワシ44 マイワシ小32 カタチイワシ18	30.5	5	370	3	60
		中	12	82	野間池沖 縄瀬 サバ類23 サバ類中18 マアジ小16	6.8	17	112	0	—
	枕崎	大	1	17	牛深沖 マサバ小48 コマサバ中小23 マサバ大16	17.2	3	102	1	50
		中	2	4	湯瀬 島間沖 クサヤモロ中小55 マアジ28 コマサバ中6	2.0	14	171	6	87
	内之浦	中	0	—	—	—	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—
	計	大	7	200	—	28.6	8	472	4	110
中	14	86	—	6.1	31	283	6	87		
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	61	127	阿久根沖 長島 ウルメイワシ75 カタチイワシ22	2.1	84	149	23	72	
	内之浦	0	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	33	20	マアジ豆21 サバ類小9 ニサダイ9	0.6	35	23	16	11	
刺網	阿久根	19	3	キビナゴ100	0.2	37	6	21	2	
カツオ釣り	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	0	—
		小	0	—	—	—	0	—	0	—
	海旋	大	0	—	—	—	0	—	1	695
		中	2	8	カツオ小78 キハダ20	4.1	0	—	1	4
海外旋網	山川	海旋	0	—	—	—	1	1102	2	940

○その他

西薩海域では、ごち網で1日のみチダイ(300g)を25kg/隻、マダイ(1kg)を8kg/隻の漁。一本釣りでカンパチ(1kg)を5～8kg/隻・日、オオモンハタ(1kg)を5～6kg/隻・日、キダイ(300g)を1日のみ6kg/隻の漁。延縄でキダイ(300g)を13～20kg/隻・日、アカマダイ(400g)を1日のみ18kg/隻の漁。刺網で1日のみチダイ(300g)を19kg/隻の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを150～250kg/隻・日の漁。一本釣りでマダイ(1～2kg)を50～100kg/隻・日、イサキ(200～300g)を20kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでブリ(6kg)を週計で250kg/隻の漁。志布志湾海域では、底曳網でマダイ(1kg)を20～30kg/隻・日、ハモ(500～600g)を20kg/隻・日、イホダイ(100～200g)を10～20kg/隻・日、ニヘ(1kg)を10kg/隻・日、タチウオ(500～600g)を5～10kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、一本釣りの5～6日操業でキハダ(20～50kg)を2～46尾/隻、ピンナガ(15～16kg)を3～5尾/隻、メハチ(30～39kg)を1～2尾/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月2日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁9月2日発行「海洋速報令和2年162号」による。